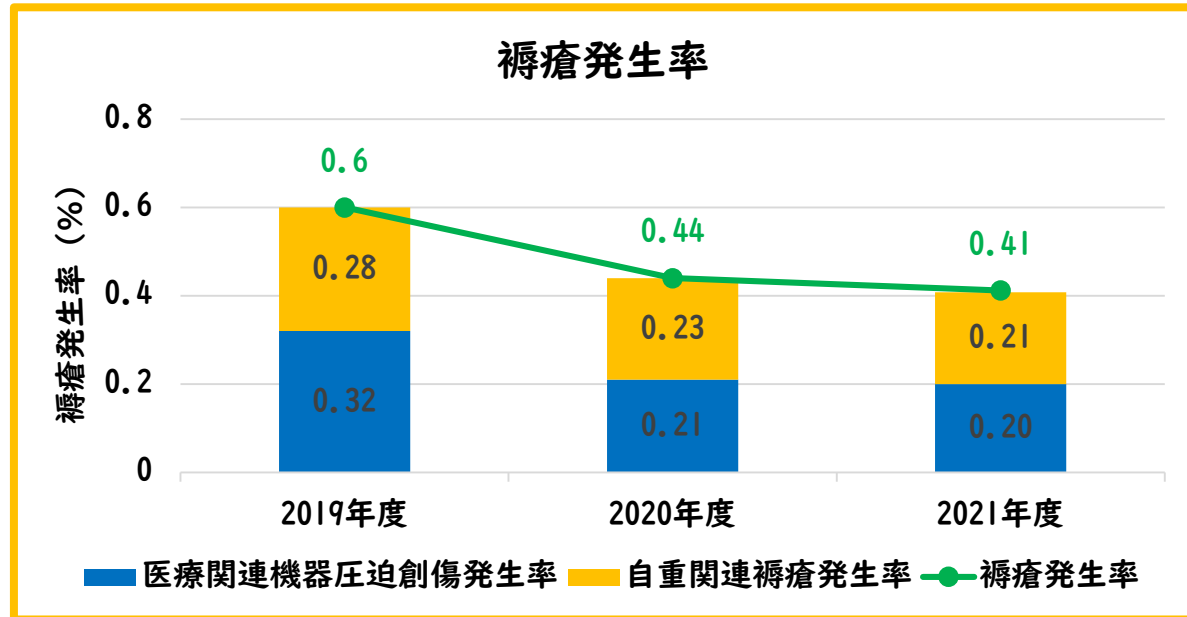


34 褥瘡発生率

褥瘡対策チーム

◆解説◆ 褥瘡発生率は、医療の質評価のひとつです。褥瘡は、予防が最も重要です。当院では入院時に全ての患者の褥瘡発生リスク評価を行い、リスクのある患者には褥瘡診療計画書を立案し実践しています。また、状態変化時に、褥瘡発生のリスクを再評価し、褥瘡予防に必要な体圧分散用具の使用検討や保湿などのケアを行います。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士で構成されるチームが、発生した事例から同じような褥瘡をつくらないために、それぞれの専門性を活かし治療方法について検討を行っています。

◆当院の実績◆



◆定義◆

当院において、延入院患者数に対する新規褥瘡発生の割合

◆自己点検評価◆

褥瘡発生率は、全国大学病院の褥瘡発生率と比較して、高値でしたが、2018年度から減少してきています。これは、褥瘡対策チームの連携やWOC、委員会の啓発活動および直接指導の結果、褥瘡予防の観察やケアができたことによる成果と考えます。医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)においては、該当診療科と協力し、類似事例防止を目標に予防対策の検討、実践し、MDRPUの発生を抑えることができました。2020年度の褥瘡発生率は0.41%であり、目標(0.40%以下)に近づけることができました。

褥瘡予防には、多職種が連携し専門性を活かした対策が必要です。セミナーでは、職員に褥瘡発生率の推移と褥瘡発生事例を通して予防の必要性を周知しています。また、褥瘡ケアマニュアルは毎年最新の内容に改定しています。

多職種でマニュアルを共有し活用できる方法について検討しています。